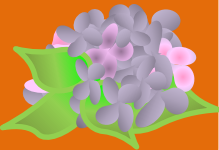


6・7月 かんごだより

令和元年 看護部目標

時間管理
先読みの看護

～ひとつ屋根の下にいる患者さんを皆で見る～



接遇研修:～目くぱり、気くぱり、心くぱり全ては挨拶から始まる～

誰でも、今すぐできる「かかってよかった」活動
立ち止まり丁寧な「あ・い・さ・づ」



◆挨拶のポイント

- [あ]…あかるく
- [い]…いつも
- [さ]…さきに
- [づ]…つづけて1言

◆正しいおじぎのポイント

- 軽い会釈…15度
- きちんとした礼…30度
- 深いおじぎ…45度

6月21日の看護部勉強会で、「患者さんが大切にしてもらっている」と感じていただく為に、今すぐにはできないことは、「立ち止まった丁寧な挨拶」であることを皆で決定し、挨拶場面を想定して学習しました。この取り組みは、各看護単位や委員会・研修会開催時に継続的に評価をしていきます。

先読みの看護を実践 カーテンオープンから始めよう!!

多床室のカーテンで仕切られた環境から、カーテンが開き患者さん達が会話される場面に遭遇するようになりました。しかし、まだ十分とはいえません。先読みをした声かけや、複眼の目で患者さんを見るための取り組みであることを、患者さんに十分に説明し「かかってよかった」と思っただけのように実践を続けましょう。

病室環境は、100～200lxが最適です。

表1. 窓側ベッド
(照度 lx:ルクス)

カーテン	開	閉
晴れ	261	262
曇り	254	227

表2. 廊下側ベッド
(照度 lx:ルクス)

カーテン	開	閉
晴れ	160	101
曇り	143	96

熊本医師会看護学校 第1看護学科の学生さんと、患者さんの療養環境の照度チェックをしました。窓と廊下側のカーテンを仕切ると、開放時と比べ更に明るさに差があります。日中はカーテンを開けることで、廊下側の患者さんにも明るさを届けることにもなります。



照度測定器

安全パトロールの強化

医療安全相談員の清田さんが、患者さんの療養環境の保安を目的に、院内や敷地内周辺の巡回を実施していただいております。



いつもありがとうございます。
ごさいます。